

**広島湾再生行動計画（第二期）
第2回中間評価**

1. 行動指標の評価結果

表-1 第2回中間評価結果一覧（行動指標）

第二期計画の 個別目標	指 標		第2回中間 評価結果	
	行動 指標	行動指標の目標		
多様な生物を 育む、恵み豊か な里海を創生 する。	行動 指標	森林の保全・整備面積	約 19,000ha 保全・整備	○
		汚水処理人口普及率	約 5%向上	○
		下水道高度処理人口普及率	約 5%向上	○
		合流式下水道の改善	3 地区改善	◎
		底質改善の実施面積	約 18ha 実施	△
		水産動物の種苗放流事業の実施回数・放流量	重点魚種の種苗生産数量の増加	○
		漁場環境整備等の実施面積	約 1,130ha 実施	◎
		干潟・藻場等の浅場の保全・再生面積	約 30ha 保全・再生	◎
人々が行き交 う、賑わいと癒 やしの水辺空 間を創出する。	行動 指標	親水空間、眺望点等の整備箇所数	1 箇所整備	△
		水辺の賑わい施設の整備箇所数	4 箇所整備	○
		広島湾再生の取り組みに関する広報の実施 状況	現状以上	○

凡例： ◎ …目標を達成している ○ …着実に取り組みが進んでいる △ …目標の達成に向けてさらなる実施が必要

個別目標 1：多様な生き物を育む、恵み豊かな里海を創生する。

行動指標	森林の保全・整備面積	○																		
目標値	約 19,000ha 保全・整備																			
計画策定時 (平成29年3月)	36.8 千 ha (平成 28 年度)																			
令和4年度時点 (令和5年3月末)	<p>12.3 千 ha 保全・整備 (令和 4 年度まで)</p> <table border="1"> <caption>森林の保全・整備面積の推移 (累計)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>面積 (千ha)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H28</td><td>36.8</td></tr> <tr><td>29</td><td>39.0</td></tr> <tr><td>30</td><td>41.4</td></tr> <tr><td>R1</td><td>43.5</td></tr> <tr><td>2</td><td>45.5</td></tr> <tr><td>3</td><td>47.3</td></tr> <tr><td>4</td><td>49.1</td></tr> <tr><td>8</td><td>55.8</td></tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">森林の保全・整備面積の推移 (累計)</p> <p>※保全・整備の工種は、間伐や除伐、造林等である。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>以下の施策 (森林整備面積) について集計：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・林野庁広島森林管理署 (森林整備) ・林野庁山口森林管理事務所 (森林整備) ・広島県 (ひろしまの森づくり事業等) ・山口県 (やまぐち森林づくり県民税関連事業等) ・広島市 (市民参加の森づくり事業等) </div>		年度	面積 (千ha)	H28	36.8	29	39.0	30	41.4	R1	43.5	2	45.5	3	47.3	4	49.1	8	55.8
年度	面積 (千ha)																			
H28	36.8																			
29	39.0																			
30	41.4																			
R1	43.5																			
2	45.5																			
3	47.3																			
4	49.1																			
8	55.8																			
考察 (達成状況と 今後の取組)	<p>目標約 19,000ha 保全・整備に対し、64.7%の達成率 (令和 4 年度まで)</p> <p>着実に取り組みが進んでいる。 目標達成に向けて、引き続き施策を着実に推進していくものとする。</p>																			

行動指標：これまでの取り組みの進捗状況を評価する指標

行動指標の評価の凡例 (令和 4 年度末時点)：



…目標を達成している



…着実に取り組みが進んでいる



…目標の達成に向けてさらなる実施が必要

個別目標 1：多様な生き物を育む、恵み豊かな里海を創生する。

行動指標	汚水処理人口普及率	○
目標値	約 5%向上	
計画策定時 (平成29年3月)	83.9% (平成 27 年度)	
令和4年度時点 (令和5年3月末)	4.3%向上 (令和 4 年度まで)	
	<p style="text-align: center;">流域内汚水処理人口普及率の推移</p> <p style="text-align: center;">以下の施策（汚水処理対策）について集計： ・ 広島県（未整備区域における下水道整備） ・ 山口県（未整備区域における下水道整備） ・ 広島市（未整備区域における下水道整備）</p>	
考察 (達成状況と 今後の取組)	<p>目標約 5%向上に対し、86%の達成率 (令和 4 年度まで)</p> <p>着実に取り組みが進んでいる</p> <p>目標達成に向けて、引き続き施策を着実に推進していくものとする。</p>	

行動指標：これまでの取り組みの進捗状況を評価する指標

行動指標の評価の凡例（令和 4 年度末時点）：



…目標を達成している


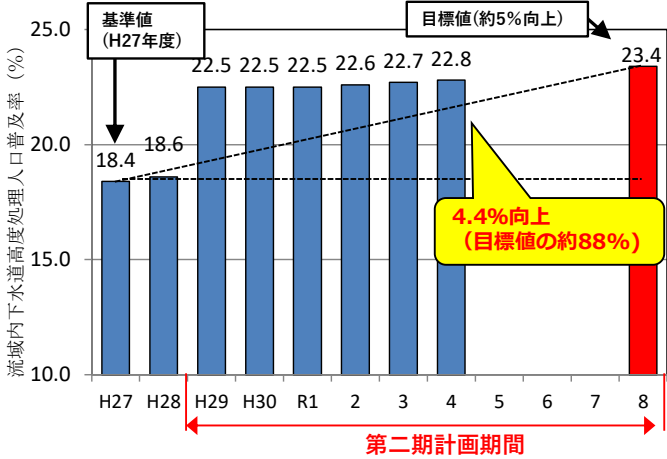


…着実に取り組みが進んでいる



…目標の達成に向けてさらなる実施が必要

個別目標 1：多様な生き物を育む、恵み豊かな里海を創生する。

<p>行動指標</p>	<p>下水道高度処理人口普及率</p>	
<p>目標値</p>	<p>約 5%向上</p>	
<p>計画策定時 (平成29年3月)</p>	<p>18.4% (平成 27 年度)</p>	
<p>令和4年度時点 (令和5年3月末)</p>	<p>4.4%向上 (令和 4 年度まで)</p>  <p style="text-align: center;">流域内高度処理人口普及率の推移</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>以下の施策（下水道高度処理）について集計：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 広島県（向原中央浄化センター、太田川流域下水道東部浄化センター、中田浄化センター、切串浄化センター、鹿川浄化センター） ・ 山口県（岩国南せせらぎセンター、鹿野浄化センター、由宇浄化センター） ・ 広島市（西部水資源再生センター） </div>	
<p>考察 (達成状況と今後の取組)</p>	<p>目標約 5%向上に対し、88%の達成率 (令和 4 年度まで)</p> <p>着実に取り組みが進んでいる。 目標達成に向けて、引き続き施策を着実に推進していくものとする。</p>	

行動指標：これまでの取り組みの進捗状況を評価する指標

行動指標の評価の凡例（令和 4 年度末時点）：



…目標を達成している




…着実に取り組みが進んでいる



…目標の達成に向けてさらなる実施が必要

個別目標 1：多様な生き物を育む、恵み豊かな里海を創生する。

<p>行動指標</p>	<p>合流式下水道の改善</p>																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
<p>目標値</p>	<p>3 地区改善</p>																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
<p>計画策定時 (平成29年3月)</p>	<p>1 地区で改善実施中 (平成 28 年度)</p>																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
<p>令和4年度時点 (令和5年3月末)</p>	<p>3 地区整備完了 (令和 4 年度まで)</p> <p style="text-align: center;">合流式下水道の改善計画</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">自治体名</th> <th rowspan="2">地区名</th> <th rowspan="2">対策内容</th> <th colspan="18">計画年次</th> </tr> <tr> <th>H17</th><th>H18</th><th>H19</th><th>H20</th><th>H21</th><th>H22</th><th>H23</th><th>H24</th><th>H25</th><th>H26</th><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th><th>H30</th><th>R1</th><th>R2</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th><th>R7</th><th>R8</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="8">広島市</td> <td rowspan="2">千田地区</td> <td>雨水滞水池、送水管(白鳥)の建設</td> <td colspan="18">■</td> </tr> <tr> <td>既設幹線の改造</td> <td colspan="18">■</td> </tr> <tr> <td>江波地区</td> <td>雨水滞水池の建設、スクリーン目盛の縮小、送水管</td> <td colspan="18">■</td> </tr> <tr> <td>吉島地区</td> <td>雨水滞水池(江波地区)</td> <td colspan="18">■</td> </tr> <tr> <td>江波地区(三種地区)</td> <td>送水管(横川)</td> <td colspan="18">■</td> </tr> <tr> <td>鞆管地区</td> <td>雨水滞水池(既設管利用)</td> <td colspan="18">■</td> </tr> <tr> <td>宇品地区</td> <td>雨水滞水池の建設</td> <td colspan="18">■</td> </tr> <tr> <td>旭・曙・京橋地区</td> <td>雨水滞水池の建設</td> <td colspan="18">■</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">大洲地区</td> <td rowspan="2">雨水滞水池、送水管の建設</td> <td colspan="18">■</td> </tr> <tr> <td colspan="18">■</td> </tr> <tr> <td>呉市</td> <td>新宮処理区</td> <td>雨天時下水活性汚泥処理法の採用</td> <td colspan="18">■</td> </tr> <tr> <td>大竹市(和木町)</td> <td>大竹処理区</td> <td>雨水滞水池の建設</td> <td colspan="18">■</td> </tr> <tr> <td>岩国市</td> <td>一文字処理区</td> <td>藻速ろ過の導入</td> <td colspan="18">■</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">■ …整備中 ■ …整備完了</p>		自治体名	地区名	対策内容	計画年次																		H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	広島市	千田地区	雨水滞水池、送水管(白鳥)の建設	■																		既設幹線の改造	■																		江波地区	雨水滞水池の建設、スクリーン目盛の縮小、送水管	■																		吉島地区	雨水滞水池(江波地区)	■																		江波地区(三種地区)	送水管(横川)	■																		鞆管地区	雨水滞水池(既設管利用)	■																		宇品地区	雨水滞水池の建設	■																		旭・曙・京橋地区	雨水滞水池の建設	■																		大洲地区	雨水滞水池、送水管の建設	■																		■																		呉市	新宮処理区	雨天時下水活性汚泥処理法の採用	■																		大竹市(和木町)	大竹処理区	雨水滞水池の建設	■																		岩国市	一文字処理区	藻速ろ過の導入	■																	
自治体名	地区名	対策内容				計画年次																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
			H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8																																																																																																																																																																																																																																																																																										
広島市	千田地区	雨水滞水池、送水管(白鳥)の建設	■																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
		既設幹線の改造	■																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	江波地区	雨水滞水池の建設、スクリーン目盛の縮小、送水管	■																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	吉島地区	雨水滞水池(江波地区)	■																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	江波地区(三種地区)	送水管(横川)	■																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	鞆管地区	雨水滞水池(既設管利用)	■																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	宇品地区	雨水滞水池の建設	■																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	旭・曙・京橋地区	雨水滞水池の建設	■																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
大洲地区	雨水滞水池、送水管の建設	■																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
		■																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
呉市	新宮処理区	雨天時下水活性汚泥処理法の採用	■																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
大竹市(和木町)	大竹処理区	雨水滞水池の建設	■																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
岩国市	一文字処理区	藻速ろ過の導入	■																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
<p>考察 (達成状況と今後の取組)</p>	<p>目標 3 地区に対し、<u>全て整備完了</u> (令和 4 年度まで)</p> <p>現時点で目標達成している。</p>																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	

行動指標：これまでの取り組みの進捗状況を評価する指標

行動指標の評価の凡例 (令和 4 年度末時点)：



…目標を達成している


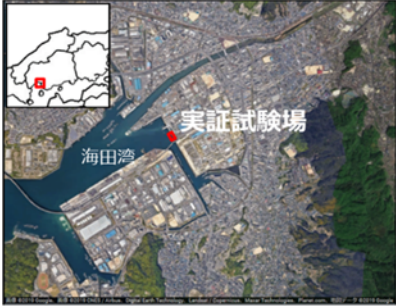


…着実に取り組みが進んでいる



…目標の達成に向けてさらなる実施が必要

個別目標 1：多様な生き物を育む、恵み豊かな里海を創生する。

行動指標	底質改善の実施面積	
目標値	約 18ha 実施	
計画策定時 (平成29年3月)	—	
令和4年度時点 (令和5年3月末)	<p>令和元年度から令和4年度までに広島湾奥部（海田湾）において、石炭灰造粒物を活用した海域環境改善手法の検討と効果を確認するための実証試験を実施した。</p> <p>石炭灰造粒物による藻類繁茂実験により、広島湾での珪藻の増殖を試みた。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>実証試験場 海田湾</p> <p>実証試験場（海田湾）</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>実証試験状況</p> <p>石炭灰造粒物散布状況</p> </div> </div>	
考察 (達成状況と今後の取組)	<p>目標約 18ha に対し、0.1ha 実施（令和4年度まで）</p> <p>底質を直接的に改善する手法として、①浚渫、②覆砂、③産業系リサイクル材による海底被覆、④海底耕耘の検討が必要と考える。</p> <p>なお、広島湾では、過去に石炭灰造粒物や焼成カキ殻を用いた底質改善が実施され、効果も確認されており、残りの計画期間における底質改善の取組としては、③産業系リサイクル材（石炭灰造粒物、鉄鋼スラグ、焼成カキ殻など）等を活用した底質改善方法などの検討が必要と考える。</p>	

行動指標：これまでの取り組みの進捗状況を評価する指標

行動指標の評価の凡例（令和4年度末時点）：



…目標を達成している


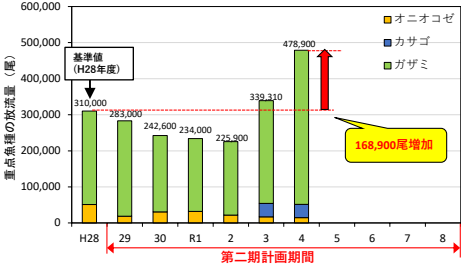


…着実に取り組みが進んでいる






…目標の達成に向けてさらなる実施が必要

個別目標 1：多様な生き物を育む、恵み豊かな里海を創生する。


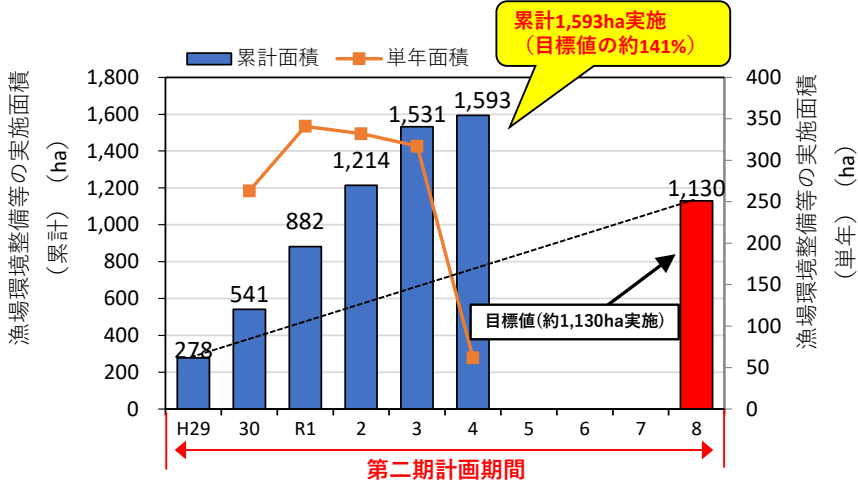
<p>行動指標</p>	<p>水産動物の種苗放流事業の実施回数、放流量</p>																																																																																																																																																																																																																																																		
<p>目標値</p>	<p>重点魚種の種苗生産数量の増加</p>																																																																																																																																																																																																																																																		
<p>計画策定時 (平成29年3月)</p>	<p>下図参照 (平成 28 年度)</p>																																																																																																																																																																																																																																																		
<p>令和4年度時点 (令和5年3月末)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・種苗放流事業の実施回数：70 回 (平成 28 年度) →35 回 (令和 4 年度) ・種苗放流事業の実施量：31.0 万尾 (平成 28 年度) →47.9 万尾 (令和 4 年度) <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <table border="1" data-bbox="464 741 866 1030"> <caption>水産動物の種苗放流事業の実施回数</caption> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="2">H28</th> <th colspan="2">H29</th> <th colspan="2">H30</th> <th colspan="2">R1</th> <th colspan="2">R2</th> <th colspan="2">R3</th> <th colspan="2">R4</th> </tr> <tr> <th>2016</th> <th>2017</th> <th>2018</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> <th>2023</th> <th>2024</th> <th>2025</th> <th>2026</th> <th>2027</th> <th>2028</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">購入放流</td> <td>アユ</td> <td>6</td> <td>6</td> <td>6</td> <td>5</td> <td>6</td> <td>6</td> <td>6</td> <td>6</td> <td>6</td> <td>6</td> <td>6</td> <td>6</td> <td>6</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>カサゴ</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>ヨシロギ</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>アサリ</td> <td>15</td> <td>14</td> <td>14</td> <td>11</td> <td>11</td> <td>10</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>カサゴ</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>8</td> <td>8</td> <td>8</td> <td>8</td> <td>8</td> <td>8</td> <td>8</td> <td>8</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">生産放流</td> <td>シジミ</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>モズガニ</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>未計上</td> <td>未計上</td> <td>未計上</td> <td>未計上</td> <td>未計上</td> <td>未計上</td> <td>未計上</td> <td>未計上</td> </tr> <tr> <td>ガザミ</td> <td>7</td> <td>7</td> <td>8</td> <td>6</td> <td>7</td> <td>6</td> <td>6</td> <td>6</td> <td>6</td> <td>6</td> <td>6</td> <td>6</td> <td>6</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>アユ</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>ワカメ</td> <td>13</td> <td>15</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>マコガレイ</td> <td>8</td> <td>8</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>オニオコゼ※</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>6</td> <td>4</td> <td>6</td> <td>4</td> <td>6</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>アイナメ</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>3</td> <td>9</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>回</td> <td>70</td> <td>70</td> <td>47</td> <td>43</td> <td>43</td> <td>43</td> <td>35</td> <td>35</td> <td>35</td> <td>35</td> <td>35</td> <td>35</td> <td>35</td> </tr> </tbody> </table> <div style="font-size: small;"> <p>※)オニオコゼ…令和2年度から生産をやめ、広島県から調達</p> </div> <div style="text-align: right;">  </div> </div> <p>※重点魚種：ガザミ、キジハタ、オニオコゼ、カサゴ（「瀬戸内海の環境の保全に関する広島県計画、平成 28 年 10 月」より） ※このほか、広島県では平成 29 年度にオニオコゼ、キジハタ種苗放流、平成 30 年度にオニオコゼ、キジハタ、カサゴの種苗放流を実施。また、山口県においても、広島湾内での放流実績有り。 ※R3、R4 のアサリ放流は産地偽装の影響によりカサゴ放流に切り替えたため、「0」となっている。</p> <div style="border: 1px dashed gray; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>「購入放流」は他産地から購入したものを放流、「生産放流」は広島市水産振興センターで生産したものを放流したものである。</p> </div>		区分	単位	H28		H29		H30		R1		R2		R3		R4		2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	購入放流	アユ	6	6	6	5	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	カサゴ	3	3	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	ヨシロギ	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	アサリ	15	14	14	11	11	10	0	0	0	0	0	0	0	0	カサゴ	—	—	—	—	—	8	8	8	8	8	8	8	8	8	生産放流	シジミ	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	モズガニ	3	3	3	5	4	3	未計上	未計上	未計上	未計上	未計上	未計上	未計上	未計上	ガザミ	7	7	8	6	7	6	6	6	6	6	6	6	6	6	アユ	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	ワカメ	13	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	マコガレイ	8	8	0	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	オニオコゼ※	4	4	6	4	6	4	6	4	4	4	4	4	4	4	アイナメ	4	4	4	5	3	9	4	4	4	4	4	4	4	4	合計	回	70	70	47	43	43	43	35	35	35	35	35	35	35
区分	単位	H28			H29		H30		R1		R2		R3		R4																																																																																																																																																																																																																																				
		2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028																																																																																																																																																																																																																																					
購入放流	アユ	6	6	6	5	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6																																																																																																																																																																																																																																				
	カサゴ	3	3	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2																																																																																																																																																																																																																																				
	ヨシロギ	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1																																																																																																																																																																																																																																				
	アサリ	15	14	14	11	11	10	0	0	0	0	0	0	0	0																																																																																																																																																																																																																																				
	カサゴ	—	—	—	—	—	8	8	8	8	8	8	8	8	8																																																																																																																																																																																																																																				
生産放流	シジミ	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2																																																																																																																																																																																																																																				
	モズガニ	3	3	3	5	4	3	未計上	未計上	未計上	未計上	未計上	未計上	未計上	未計上																																																																																																																																																																																																																																				
	ガザミ	7	7	8	6	7	6	6	6	6	6	6	6	6	6																																																																																																																																																																																																																																				
	アユ	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0																																																																																																																																																																																																																																				
	ワカメ	13	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0																																																																																																																																																																																																																																				
マコガレイ	8	8	0	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2																																																																																																																																																																																																																																					
オニオコゼ※	4	4	6	4	6	4	6	4	4	4	4	4	4	4																																																																																																																																																																																																																																					
アイナメ	4	4	4	5	3	9	4	4	4	4	4	4	4	4																																																																																																																																																																																																																																					
合計	回	70	70	47	43	43	43	35	35	35	35	35	35	35																																																																																																																																																																																																																																					
<p>考察 (達成状況と今後の取組)</p>	<p>計画策定時 (平成 28 年度) より、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・種苗放流事業の実施回数：35 回減少 ・種苗放流事業の実施量：16.9 万尾増加 (令和 4 年度) <p>着実に取り組みが進んでいる。 目標達成に向けて、引き続き施策を着実に推進していくものとする。</p>																																																																																																																																																																																																																																																		

行動指標：これまでの取り組みの進捗状況を評価する指標

行動指標の評価の凡例 (令和 4 年度末時点)：

-  …目標を達成している
-  …着実に取り組みが進んでいる
-  …目標の達成に向けてさらなる実施が必要

個別目標 1：多様な生き物を育む、恵み豊かな里海を創生する。

行動指標	漁場環境整備等の実施面積	
目標値	約 1,130ha 実施	
計画策定時 (平成29年3月)	—	
令和4年度時点 (令和5年3月末)	<p>1,593ha 実施 (令和 4 年度まで)</p>  <p>漁場環境整備等の実施面積の推移 (累計)</p> <p>以下の施策について集計： ・海底清掃事業 (広島県、広島市) ・魚礁設置事業 (山口県) ※このほか、水産多面的機能発揮事業 (4箇所)、食害防止対策事業を実施 (山口県)</p>	
考察 (達成状況と今後の取組)	<p>目標約 1,130ha に対し、141%の達成率 (令和 4 年度まで)</p> <p>現時点で目標達成している。 実施面積 (単年) は、令和元年度までは増加が見られたが、その後は減少傾向にある。近年の実施面積 (単年) のトレンドから、今後の大幅な整備拡大は想定しづらく、目標値の見直し (上方修正) は行わずに施策を進めていくものとする。</p>	

行動指標：これまでの取り組みの進捗状況を評価する指標

行動指標の評価の凡例 (令和 4 年度末時点)：



…目標を達成している


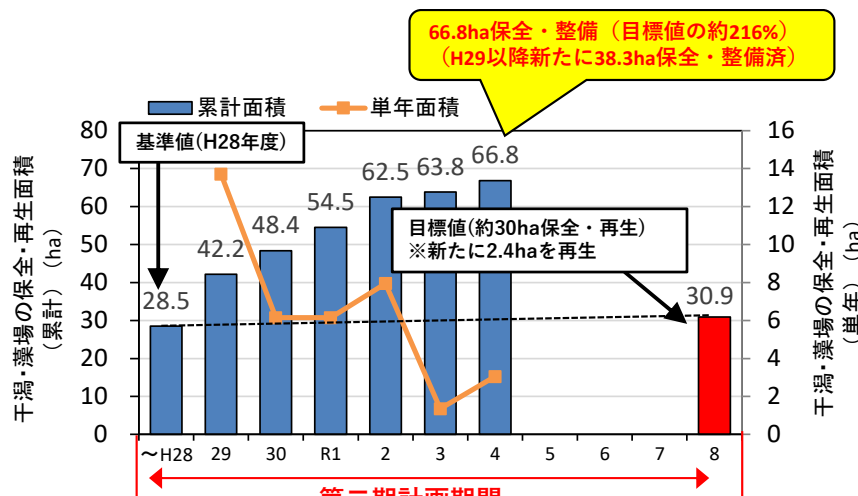


…着実に取り組みが進んでいる



…目標の達成に向けてさらなる実施が必要

個別目標 1：多様な生き物を育む、恵み豊かな里海を創生する。

<p>行動指標</p>	<p>干潟・藻場等の浅場の保全・再生面積</p>	
<p>目標値</p>	<p>約 30ha 保全・再生</p>	
<p>計画策定時 (平成29年3月)</p>	<p>28.5ha 保全・再生 (平成 28 年度)</p>	
<p>令和4年度時点 (令和5年3月末)</p>	<p>66.8ha 保全・再生 (令和 4 年度まで) (このうち、平成 29 年度以降、新たに 38.3ha 保全・整備済)</p>  <p>66.8ha 保全・整備 (目標値の約216%) (H29以降新たに38.3ha 保全・整備済)</p> <p>基準値(H28年度)</p> <p>28.5</p> <p>42.2</p> <p>48.4</p> <p>54.5</p> <p>62.5</p> <p>63.8</p> <p>66.8</p> <p>30.9</p> <p>目標値(約30ha 保全・再生) ※新たに2.4haを再生</p> <p>第二期計画期間</p> <p>干潟・藻場等の保全・再生面積の推移 (累計)</p> <p>以下の施策について集計 (平成 29 年度) :</p> <ul style="list-style-type: none"> ・増殖場造成、泊地浚渫 (呉市) (平成 28~令和 2 年度) ・増殖場造成、アマモ場・干潟の保全 (山口県) 	
<p>考察 (達成状況と 今後の取組)</p>	<p>目標約 30ha (30.9ha) 保全・再生に対し、216%の達成率 (令和 4 年度まで)</p> <p>現時点で目標達成している</p> <p>保全・再生面積 (単年) は、平成 28 年以降は減少傾向にある。近年の保全・再生面積 (単年) のトレンドから、今後の大幅な整備拡大は想定しづらく、目標値の見直し (上方修正) は行わずに施策を進めていくものとする。</p>	

行動指標：これまでの取り組みの進捗状況を評価する指標

行動指標の評価の凡例 (令和 4 年度末時点) :



…目標を達成している




…着実に取り組みが進んでいる



…目標の達成に向けてさらなる実施が必要

個別目標 2 : 人々が行き交う、賑わいと癒やしの水辺空間を創出する。

行動指標	親水空間、眺望点等の整備箇所数	
目標値	1 箇所整備	
計画策定時 (平成29年3月)	—	
令和4年度時点 (令和5年3月末)	<p>1 箇所計画見直し中 (令和 4 年度)</p> <p>計画策定時は、「美しい川づくり (猿猴川)」における整備を見込んでいたが、平成 30 年豪雨、令和 3 年豪雨の影響により、事業が中断している。</p>	
考察 (達成状況と 今後の取組)	<p>目標 1 箇所に対し、<u>計画見直し中</u> (令和 4 年度)</p> <p>計画策定時に見込んでいた、「美しい川づくり (猿猴川)」における整備は中断された状態ではある。「美しい川づくり」については、引き続き施策を推進していくものとする。</p> <p>また、本指標に適合する事業であれば評価対象としていくものとする。</p>	

行動指標：これまでの取り組みの進捗状況を評価する指標

行動指標の評価の凡例 (令和 4 年度末時点) :



…目標を達成している




…着実に取り組みが進んでいる



…目標の達成に向けてさらなる実施が必要

個別目標 2：人々が行き交う、賑わいと癒やしの水辺空間を創出する。

行動指標	水辺の賑わい施設の整備箇所数	
目標値	4 箇所整備	
計画策定時 (平成29年3月)	—	
令和4年度時点 (令和5年3月末)	2 箇所整備計画・実施中、1 箇所事業完了（令和 4 年度） ①みなとの賑わいづくり事業（広島港宇品地区） ※整備中 ②みなとの賑わいづくり事業（厳島港宮島口地区） ※整備中 ③みなとの賑わいづくり事業（厳島港胡町地区） ※事業完了	
考察 (達成状況と 今後の取組)	目標 4 箇所に対し、 <u>2 箇所整備計画・実施中、1 箇所事業完了</u> （令和 4 年度） 着実に取り組みが進んでいる。 目標達成に向けて、引き続き施策を推進していくものとする。	

行動指標：これまでの取り組みの進捗状況を評価する指標

行動指標の評価の凡例（令和 4 年度末時点）：



…目標を達成している



…着実に取り組みが進んでいる



…目標の達成に向けてさらなる実施が必要

個別目標 2：人々が行き交う、賑わいと癒やしの水辺空間を創出する。

行動指標	広島湾再生の取り組みに関する広報の実施状況	○																								
目標値	現状以上																									
計画策定時 (平成29年3月)	広島湾再生の取り組みに関する広報の実施回数：3回 (平成28年度)																									
令和4年度時点 (令和5年3月末)	<p>広島湾再生の取り組みに関する広報の実施回数：4回 (令和4年度)</p> <table border="1"> <caption>広島湾再生の取り組みに関する広報の実施回数の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実施回数(回)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H28</td><td>3</td></tr> <tr><td>29</td><td>8</td></tr> <tr><td>30</td><td>11</td></tr> <tr><td>R1</td><td>9</td></tr> <tr><td>2</td><td>4</td></tr> <tr><td>3</td><td>5</td></tr> <tr><td>4</td><td>4</td></tr> <tr><td>5</td><td>5 (1回増加)</td></tr> <tr><td>6</td><td></td></tr> <tr><td>7</td><td></td></tr> <tr><td>8</td><td></td></tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">第二期計画期間</p> <p style="text-align: center;">広島湾再生の取り組みに関する広報の実施回数の推移</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>以下について集計：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広島湾再生行動計画をPRしたイベント ・広島湾再生行動計画のパンフレットを配布した箇所数 ・広島湾再生行動計画のパネルの展示回数 ・シンポジウムの開催回数 ・その他（メルマガ等での情報提供など） </div>	年度	実施回数(回)	H28	3	29	8	30	11	R1	9	2	4	3	5	4	4	5	5 (1回増加)	6		7		8		
年度	実施回数(回)																									
H28	3																									
29	8																									
30	11																									
R1	9																									
2	4																									
3	5																									
4	4																									
5	5 (1回増加)																									
6																										
7																										
8																										
考察 (達成状況と 今後の取組)	<p>計画策定時（平成28年度）より、<u>1回増加</u>（令和4年度）</p> <p>着実に取り組みが進んでいる。 引き続き、広報を着実に推進していくものとする。 なお、広島湾の保全・再生に向けた官民連携活動において、広島湾再生行動計画の効果的な広報を引き続き実施していく必要がある。</p>																									

行動指標：これまでの取り組みの進捗状況を評価する指標

行動指標の評価の凡例（令和4年度末時点）：



…目標を達成している












…着実に取り組みが進んでいる






…目標の達成に向けてさらなる実施が必要


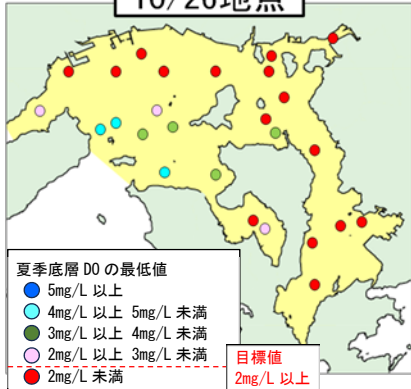
2. 状態指標の評価結果

表-3 第2回中間評価結果一覧（状態指標）

第二期計画の個別目標	指 標		状態指標の目標	第2回中間評価結果
	状態指標			
多様な生物を育む、恵み豊かな里海を創生する。	状態指標	底層 DO	北部海域において夏季底層 DO 最低値が 2mg/l を下回らないこと	
		赤潮発生状況	漁業被害を伴う赤潮の発生がないこと	
		かき生産量	維持されること	
		透明度	親水空間周辺では、夏季透明度の最低値が 1m を下回らないこと、藻場周辺の年間平均透明度が 4m を上回ること	
		浅場に生息する生物の種類数・個体数	維持または増加傾向を示すこと	
人々が行き交う、賑わいと癒やしの水辺空間を創出する。	状態指標	広島湾再生行動計画ホームページへのアクセス数	増加傾向を示すこと	
		広島湾の保全・再生に関する住民等の意識	意識が向上すること	
自然や歴史・文化的資源を活かし、水辺の美しい景観を保全する。	状態指標	自然、歴史・文化的資源の保全状況	これらの資源が劣化することなく保全されていること	
		海岸漂着ごみの状況	減少傾向を示すこと	

凡例：…計画時から状態が改善傾向にある …計画時の状態が概ね維持されている …計画時の状態が維持されていない




個別目標 1：多様な生き物を育む、恵み豊かな里海を創生する。

状態指標	底層 D0	
目標値	北部海域において夏季底層 D0 最低値が 2mg/l を下回らないこと	
計画策定時 (平成29年3月)	目標達成地点：19/26 地点（達成率 73%）（平成 28 年度）	
令和4年度時点 (令和5年3月末)	<p>目標達成地点：10/26 地点（達成率 38%）（令和 4 年度）</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>（目標達成状況の推移） H28：19/26 地点（73%） H29：17/26 地点（65%） H30：18/26 地点（69%） R1：19/26 地点（73%） R2：19/26 地点（73%） R3：11/26 地点（42%） R4：10/26 地点（38%）</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>10/26地点</p>  </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;"> <p>目標達成率の推移</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>令和 4 年度</p> <p>夏季底層 D0 の最低値の地点別目標達成状況</p> </div> </div> <p>出典： ・浅海定線調査、広島県立総合技術研究所水産海洋技術センター提供 ・環境保全調査、海上保安庁第六管区海上保安本部提供 ・瀬戸内海総合水質調査、国土交通省中国地方整備局提供</p>	
考察 (達成状況と今後の取組)	<p>夏季底層 D0 の目標達成地点は減少（達成率 73%→38%）（令和 4 年度）</p> <p>計画策定時に比べ状態が維持されていない。 夏季底層 D0 の低下要因について、近年の研究¹⁾では大きく 2 つの要因が報告されており、このうち「要因 2」は年による底層 D0 低下範囲の拡大縮小に寄与するとされている。</p> <p>要因 1：海底の泥による酸素消費（主要因） 要因 2：植物プランクトンの死骸などの分解に伴う酸素消費等</p> <p>令和 4 年度に底層 D0 濃度 2mg/L 未満の地点が増えたのは、6 月以降の気温が例年よりも比較的高い状態が続いたため、植物プランクトンが増殖しやすくなり、「要因 2」が北部海域の広い範囲で発生したためと考えられる。引き続き、底層 D0 及び関連項目のモニタリングを継続するとともに、底泥による酸素消費を抑制する方法（底質改善など）について検討する必要がある。</p>	


状態指標：広島湾の保全・再生状況を評価する指標

1) 山本ら：浮遊系-底生系カップリング・モデルによる広島湾北部海域の貧酸素水塊形成に関する動態解析、水環境学会誌, Vol. 34, No. 2, pp. 19-28, 2011.

状態指標の評価の凡例（令和 4 年度末時点）：




 …計画時から状態が改善傾向にある
  …計画時の状態が概ね維持されている
  …計画時の状態が維持されていない

個別目標 1：多様な生き物を育む、恵み豊かな里海を創生する。

状態指標	赤潮発生状況	
目標値	漁業被害を伴う赤潮の発生が無いこと	
計画策定時 (平成29年3月)	<ul style="list-style-type: none"> 赤潮発生延べ件数：7件 漁業被害件数：1件（平成28年度） 	
令和4年度時点 (令和5年3月末)	<ul style="list-style-type: none"> 赤潮発生延べ件数：2件 漁業被害件数：0件（令和4年度） <div style="text-align: center;"> <p>赤潮発生延べ件数及び漁業被害件数の推移（北部海域）</p> <p>注）赤潮発生延べ件数：赤潮が複数の月にまたがって発生している場合は、各月ごとに別々に計上している。（例：赤潮が10/1～11/15まで発生→赤潮発生延べ件数：2件）</p> <p>出典：赤潮発生概況・赤潮発生海域図、広島県ホームページ</p> </div>	
考察 (達成状況と今後の取組)	<p>計画策定時（平成28年度）より、</p> <ul style="list-style-type: none"> 赤潮発生延べ件数は 5件減少 漁業被害は 発生していない <p>（令和4年度）</p> <p>計画策定時に比べ状態が改善傾向である。 これまでの汚水処理対策などの着実な実施により赤潮の発生を抑制できていると考えられるが、気象条件等により赤潮の発生が増加する可能性もあるため、引き続き監視していくものとする。</p>	

状態指標：広島湾の保全・再生状況を評価する指標

状態指標の評価の凡例（令和4年度末時点）：

 …計画時から状態が改善傾向にある
  …計画時の状態が概ね維持されている
  …計画時の状態が維持されていない

個別目標 1：多様な生き物を育む、恵み豊かな里海を創生する。

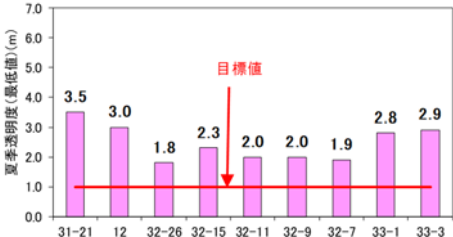
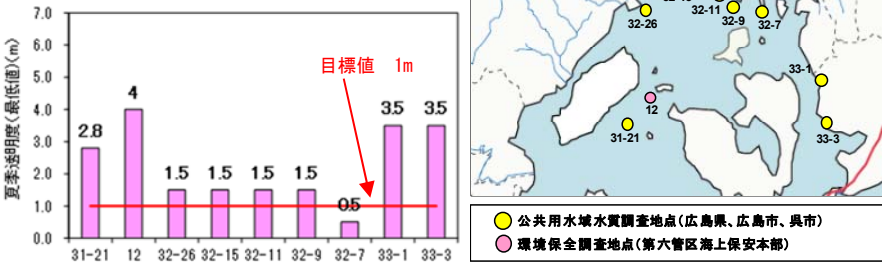
状態指標	かき生産量	➡																				
目標値	維持されること																					
計画策定時 (平成29年3月)	かき生産量（むき身換算）：17,100 トン（平成 27 年度）																					
令和4年度時点 (令和5年3月末)	<p>かき生産量（むき身換算）：17,100 トン（令和 4 年度）</p> <p>(単位:t)</p> <table border="1"> <caption>かき生産量（むき身換算）の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>生産量 (t)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H26</td><td>18,700</td></tr> <tr><td>27</td><td>17,100</td></tr> <tr><td>28</td><td>18,800</td></tr> <tr><td>29</td><td>19,500</td></tr> <tr><td>30</td><td>17,400</td></tr> <tr><td>R1</td><td>16,100</td></tr> <tr><td>2</td><td>17,200</td></tr> <tr><td>3</td><td>18,200</td></tr> <tr><td>4</td><td>17,100</td></tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">第二期計画期間</p> <p style="text-align: center;">かき生産量（むき身換算）の推移</p> <p>出典: 令和 5 年度広島かき生産出荷指針(広島県)</p>		年度	生産量 (t)	H26	18,700	27	17,100	28	18,800	29	19,500	30	17,400	R1	16,100	2	17,200	3	18,200	4	17,100
年度	生産量 (t)																					
H26	18,700																					
27	17,100																					
28	18,800																					
29	19,500																					
30	17,400																					
R1	16,100																					
2	17,200																					
3	18,200																					
4	17,100																					
考察 (達成状況と今後の取組)	<p>計画策定時（平成 27 年度）より、かき生産量は変化無し（令和 4 年度）</p> <p>計画策定時の状態が概ね維持されている。</p> <p>令和 5 年度広島かき生産出荷指針（広島県）によると、令和 4 年度の出荷が低調となった理由として、夏季の高水温によるへい死や成育不良をあげている。カキ生産量は経年的にやや低下傾向ではあるものの、年によって増減が見られる。こうした変動は、長期的な気候のトレンドだけではなく、各年の気象や餌となるプランクトン量など、様々な要因が考えられることから、引き続き監視していくものとする。</p>																					

状態指標：広島湾の保全・再生状況を評価する指標

状態指標の評価の凡例（令和 4 年度末時点）：

➡ …計画時から状態が改善傾向にある
 ➡ …計画時の状態が概ね維持されている
 ➡ …計画時の状態が維持されていない

個別目標 1：多様な生き物を育む、恵み豊かな里海を創生する。


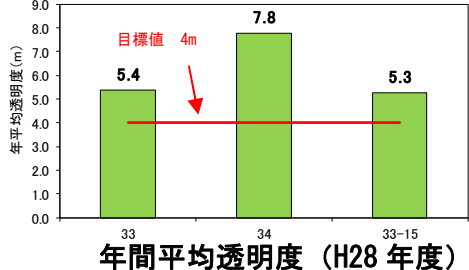
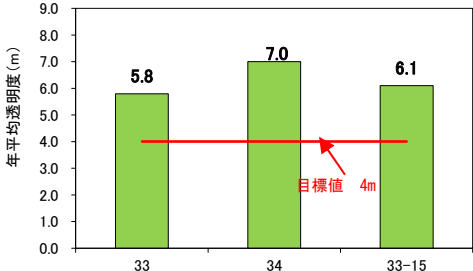
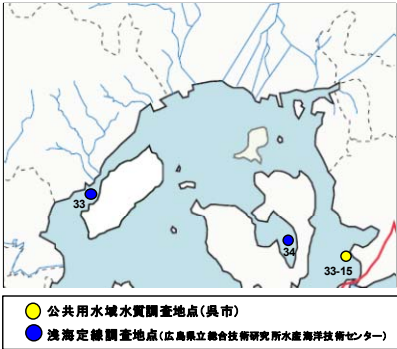
状態指標	透明度	
目標値	①親水空間周辺では、夏季透明度の最低値が 1m を下回らないこと	
計画策定時 (平成29年3月)	目標達成地点： 9/9 地点 (達成率 100%) (平成 28 年度)	 <p>夏季透明度の最低値 (H28 年度)</p>
令和4年度時点 (令和5年3月末)	目標達成地点：8/9 地点 (達成率 88%) (令和 4 年度)	 <p>夏季透明度の最低値 (R4 年度)</p> <p>夏季透明度の評価地点</p> <p>● 公共用水域水質調査地点(広島県、広島市、呉市) ○ 環境保全調査地点(第六管区海上保安本部)</p> <p>出典：公共用水域水質調査(広島県)、環境保全調査(海上保安庁第六管区海上保安本部)</p>
考察 (達成状況と今後の取組)	<p>8/9 地点で目標を達成 (令和 4 年度)</p> <p>計画策定時の状態が概ね維持されている。 湾北部の 1 箇所で目標値を下回っており、令和 2 年度にも目標値を下回っていた地点である。当該地点は調査 2 日前に降雨による河川流入があったため、表層での植物プランクトンの増殖により、局所的に透明度が低下していたものと推定される。 湾全体の透明度が低下している状況ではなく、引き続き監視していくものとする。</p>	

状態指標：広島湾の保全・再生状況を評価する指標

状態指標の評価の凡例 (令和 4 年度末時点)：




▶ …計画時から状態が改善傾向にある
 ▶ …計画時の状態が概ね維持されている
 ▶ …計画時の状態が維持されていない

個別目標 1：多様な生き物を育む、恵み豊かな里海を創生する。

状態指標	透明度	
目標値	②藻場周辺の年間平均透明度が4mを上回ること	
計画策定時 (平成29年3月)	<p>目標達成地点： 3/3 地点（達成率 100%） (平成 28 年度)</p>	
令和4年度時点 (令和5年3月末)	<p>目標達成地点：3/3 地点（達成率 100%）（令和 4 年度）</p>	  <p style="text-align: center;">年間平均透明度の評価地点</p> <p>出典：浅海定線調査(広島県)、公共用水域水質調査(広島県)</p>
<p style="text-align: center;">考察</p> <p style="text-align: center;">（達成状況と 今後の取組）</p>	<p>全ての地点で目標を達成（令和 4 年度）</p> <p>計画策定時の状態が概ね維持されている。 汚水処理人口普及率の向上、合流式下水道の改善等の推進により、 海域に流入する負荷量が減少したため、富栄養化が抑制され、透明度が向上したものと考えられる。 引き続き、監視していくものとする。</p>	

状態指標：広島湾の保全・再生状況を評価する指標

状態指標の評価の凡例（令和4年度末時点）：

 …計画時から状態が改善傾向にある
  …計画時の状態が概ね維持されている
  …計画時の状態が維持されていない

個別目標 1：多様な生き物を育む、恵み豊かな里海を創生する。

状態指標	浅場に生息する生物の種類数・個体数	➡																																																																		
目標値	維持または増加傾向を示すこと																																																																			
計画策定時 (平成29年3月)	種類数：24種類 個体数：236個体（五日市地区人工干潟） (平成28年度)																																																																			
令和4年度時点 (令和5年3月末)	種類数：20種類 個体数：613個体（令和4年度） <table border="1"> <caption>広島港五日市地区人工干潟における底生生物の個体数・種類数の経年変化（年間平均）</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>種類数</th> <th>個体数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H18</td><td>15</td><td>254</td></tr> <tr><td>19</td><td>23</td><td>497</td></tr> <tr><td>20</td><td>21</td><td>2120</td></tr> <tr><td>21</td><td>20</td><td>1761</td></tr> <tr><td>22</td><td>29</td><td>854</td></tr> <tr><td>23</td><td>20</td><td>1511</td></tr> <tr><td>24</td><td>27</td><td>1726</td></tr> <tr><td>25</td><td>32</td><td>456</td></tr> <tr><td>26</td><td>33</td><td>700</td></tr> <tr><td>27</td><td>24</td><td>1185</td></tr> <tr><td>28</td><td>24</td><td>236</td></tr> <tr><td>29</td><td>21</td><td>507</td></tr> <tr><td>30</td><td>28</td><td>275</td></tr> <tr><td>27</td><td>24</td><td>236</td></tr> <tr><td>28</td><td>21</td><td>236</td></tr> <tr><td>29</td><td>28</td><td>507</td></tr> <tr><td>30</td><td>21</td><td>275</td></tr> <tr><td>R1</td><td>19</td><td>51</td></tr> <tr><td>R2</td><td>20</td><td>171</td></tr> <tr><td>R3</td><td>19</td><td>329</td></tr> <tr><td>R4</td><td>20</td><td>613</td></tr> </tbody> </table> <p>出典：広島県調べ</p>	年度	種類数	個体数	H18	15	254	19	23	497	20	21	2120	21	20	1761	22	29	854	23	20	1511	24	27	1726	25	32	456	26	33	700	27	24	1185	28	24	236	29	21	507	30	28	275	27	24	236	28	21	236	29	28	507	30	21	275	R1	19	51	R2	20	171	R3	19	329	R4	20	613	
年度	種類数	個体数																																																																		
H18	15	254																																																																		
19	23	497																																																																		
20	21	2120																																																																		
21	20	1761																																																																		
22	29	854																																																																		
23	20	1511																																																																		
24	27	1726																																																																		
25	32	456																																																																		
26	33	700																																																																		
27	24	1185																																																																		
28	24	236																																																																		
29	21	507																																																																		
30	28	275																																																																		
27	24	236																																																																		
28	21	236																																																																		
29	28	507																																																																		
30	21	275																																																																		
R1	19	51																																																																		
R2	20	171																																																																		
R3	19	329																																																																		
R4	20	613																																																																		
考察 (達成状況と今後の取組)	<p>計画策定時（平成28年度）より、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 個体数：377 個体増加 ・ 種類数：4 種類減少 <p>（令和4年度）</p> <p>計画策定時の状態は概ね維持されている。 干潟生物の種類数、個体数は、自然条件に伴って優占種の遷移などによって変動することがある。特に、令和元年度の種類数、個体数の急激な減少は、平成30年度豪雨の影響を受けたためと考えられる。 引き続き、監視するとともに、種類数や個体数の減少が継続する場合は、減少要因について解析する必要がある。 また、五日市人工干潟以外の干潟（浅場）での継続的なモニタリングは行われていない。官民連携組織（広島湾さとうみネットワーク）を通じて、広島湾内の干潟生物観察会の定期開催など、生物生息状況をモニタリングしていく方法を検討する必要がある。</p>																																																																			

状態指標：広島湾の保全・再生状況を評価する指標

状態指標の評価の凡例（令和4年度末時点）：

➡ …計画時から状態が改善傾向にある
 ➡ …計画時の状態が概ね維持されている
 ➡ …計画時の状態が維持されていない

個別目標 2：人々が行き交う、賑わいと癒やしの水辺空間を創出する。


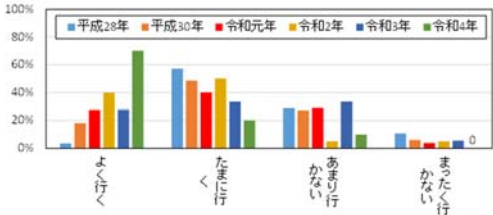
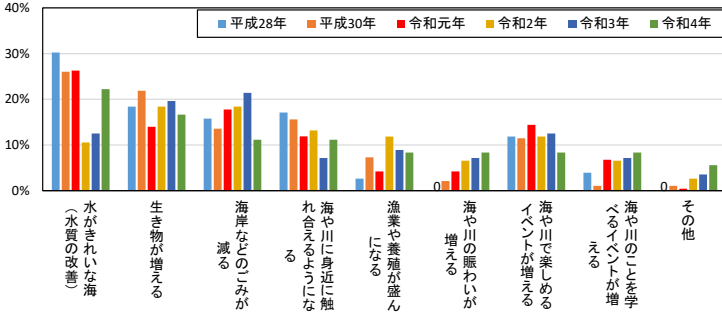
状態指標	広島湾再生行動計画ホームページへのアクセス数	➡																
目標値	増加傾向を示すこと																	
計画策定時 (平成29年3月)	広島湾再生行動計画ホームページへの年間アクセス数：11,733 (平成28年度)																	
令和4年度時点 (令和5年3月末)	<p>広島湾再生行動計画ホームページへの年間アクセス数：13,546 (令和4年度)</p> <p>(アクセス数)</p> <table border="1"> <caption>広島湾再生行動計画ホームページへの年間アクセス数の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>アクセス数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28</td> <td>11,733</td> </tr> <tr> <td>29</td> <td>14,108</td> </tr> <tr> <td>30</td> <td>9,586</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>13,698</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>18,824</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>13,159</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>13,546</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">第二期計画期間</p> <p style="text-align: center;">1,813アクセス増加</p> <p style="text-align: center;">広島湾再生行動計画ホームページへの年間アクセス数の推移</p>	年度	アクセス数	H28	11,733	29	14,108	30	9,586	R1	13,698	2	18,824	3	13,159	4	13,546	
年度	アクセス数																	
H28	11,733																	
29	14,108																	
30	9,586																	
R1	13,698																	
2	18,824																	
3	13,159																	
4	13,546																	
考察 (達成状況と今後の取組)	<p>計画策定時（平成28年度）より、1,813アクセス増加（令和4年度）</p> <p>計画策定時の状態が概ね維持されている。 引き続き、ホームページアクセス数について監視していくものとする。</p>																	

状態指標：広島湾の保全・再生状況を評価する指標

状態指標の評価の凡例（令和4年度末時点）：




➡ …計画時から状態が改善傾向にある
 ➡ …計画時の状態が概ね維持されている
 ➡ …計画時の状態が維持されていない

個別目標 2：人々が行き交う、賑わいと癒やしの水辺空間を創出する。






状態指標	広島湾の保全・再生に関する住民等の意識	
目標値	意識が向上すること	
令和4年度時点 (令和5年3月末)	<p>・ 広島湾再生行動計画（第一期）最終評価時に住民アンケートを実施（平成 28 年度） ※有効回答数：44</p> <p>・ 広島湾再生行動計画（第二期）策定後に住民アンケートを実施（平成 30 年度～令和 4 年度） ※有効回答数：33 (H30)、82 (R1)、20 (R2)、18 (R3)、10 (R4) （平成 28 年度はイベント「はつかいち環境フェスタ」、平成 30 年度、令和元年度はイベント「はつかいち環境フェスタ」「ひろしま湾秋のミーティング&マルシェ」「広島湾さとうみフェスタ」、令和 2 年度～4 年度は「広島湾さとうみフェスタ」で実施）</p> <p>Q. あなたは広島湾周辺で、海や川など、水辺を感じるところによく行きますか？</p>  <p>Q. あなたは、広島湾がどのようになればよいと思いますか？</p> 	
考察 達成状況と 今後の取組	<p>計画策定時（平成 28 年度）より、水辺を利用する住民の割合が増えている（令和 4 年度）</p> <p>また、広島湾に対して「水がきれいな海」、「生物が増える」、「海岸のごみが減る」など回答が多かったことから、これらに係る施策の推進が必要と考えられる。</p> <p>引き続き、広島湾の保全・再生に関する住民等の意識について把握していくが、より住民アンケートの信頼度を高めるための方法を検討する必要がある。例えば、イベント時のアンケート回収数を増やす工夫やWEBアンケートの活用（流域人口（約 130 万人を想定）を母集団とした場合、95%信頼性確保には約 400 サンプル必要）を検討する。</p>	

状態指標：広島湾の保全・再生状況を評価する指標

状態指標の評価の凡例（令和 4 年度末時点）：

 …計画時から状態が改善傾向にある
  …計画時の状態が概ね維持されている
  …計画時の状態が維持されていない

個別目標 3: 自然や歴史・文化的資源を活かし、水辺の美しい景観を保全する。



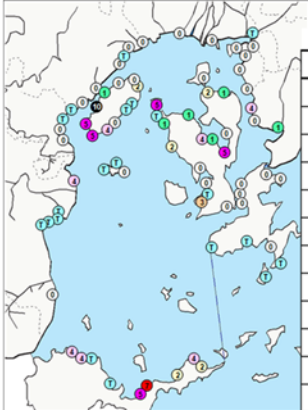


状態指標	自然、歴史・文化的資源の保全状況	
目標値	これらの資源が劣化することなく保全されていること	
計画策定時 (平成29年3月)	—	
令和4年度時点 (令和5年3月末)	<p>①ミヤジマトンボ生息地の保全・整備状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ミヤジマトンボ保護管理連絡協議会により、定期的な生息地の保全・整備が行われている。 (漂着ごみの撤去、流路の修復、茂りすぎた植物の除草など) 	
	<p>②宮島南岸の自然海岸等の保全状況 (台風等で崩壊していないか)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>(平成 28 年 1 月)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>(令和 4 年 11 月)</p> </div> </div> <p style="text-align: center;">宮島南岸 (養父崎浦) の写真</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-left: 675px; margin-top: -100px;"> <p>漂着ごみはみられるものの、台風等による崩壊等、地形の劣化は見られない。</p> </div>	
	<p>③国立公園内 (元宇品) の海岸の保全状況 (台風等で崩壊していないか)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>(平成 25 年 10 月)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>(令和 4 年 10 月)</p> </div> </div> <p style="text-align: center;">元宇品海岸の写真</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-left: 675px; margin-top: -100px;"> <p>漂着ごみはほとんど見られず、台風等による崩壊等、地形の劣化も見られない。</p> </div>	
<p style="text-align: center;">考察</p> <p style="text-align: center;">(達成状況と今後の取組)</p>	<p>計画策定時 (平成 28 年度) 以前より、貴重な生物の生息地や地形等の劣化は見られない (令和 4 年度)</p> <p>計画策定時の状態を維持している。</p> <p>引き続き、自然景観、歴史・文化的資源の保全状況について監視していくものとする。</p>	

状態指標：広島湾の保全・再生状況を評価する指標

状態指標の評価の凡例 (令和 4 年度末時点)：




▶ …計画時から状態が改善傾向にある
 ▶ …計画時の状態が概ね維持されている
 ▶ …計画時の状態が維持されていない

個別目標 3：自然や歴史・文化的資源を活かし、水辺の美しい景観を保全する。

状態指標	海岸漂着ごみの状況																																							
目標値	減少傾向を示すこと																																							
計画策定時 (平成29年3月)	—																																							
令和4年度時点 (令和5年3月末)	平成30年以降に、広島湾内の海岸漂着ごみ調査(目視)を実施 調査方法：「水辺の散乱ごみ指標評価手法(海岸版)、国土交通省、JEAN/クリーンアップ全国事務局、NPO法人パートナーシップオフィス」に準拠																																							
	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>平成30年11月調査結果</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>令和4年11月調査結果</p> </div> </div> <div style="margin-top: 10px;"> <table border="1" style="font-size: small;"> <thead> <tr> <th>ランク</th> <th>かき寄せの表現</th> <th>ごみ袋の数量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>0</td><td>(自然物を除いて)全くごみがない</td><td>0</td></tr> <tr><td>1</td><td>ごみがほんの少しある 500mlペットボトル3~4本分程度</td><td>約1/8</td></tr> <tr><td>2</td><td>ごみがある 2本のペットボトル2本分程度</td><td>約1/4</td></tr> <tr><td>3</td><td>ごみがちらほら見える 2本のペットボトル4本分程度</td><td>約1/2</td></tr> <tr><td>4</td><td>ごみがまばらに見える ポリタンク1本分程度</td><td>約1</td></tr> <tr><td>5</td><td>ごみが多い ポリタンク2本分程度</td><td>約2</td></tr> <tr><td>6</td><td>ごみが大変多い みかん箱3個分程度</td><td>約4</td></tr> <tr><td>7</td><td>ごみが非常に多い ドラム缶1本分程度</td><td>約8</td></tr> <tr><td>8</td><td>ごみでぼろぼろ覆われている ドラム缶1.5本分程度</td><td>約16</td></tr> <tr><td>9</td><td>ごみで覆われている ドラム缶3本分程度</td><td>約32</td></tr> <tr><td>10</td><td>ごみが山になっている 1車カマートン程度</td><td>約64</td></tr> <tr><td>11</td><td>ごみが山になっている 軽トラック1台分程度</td><td>約128</td></tr> </tbody> </table> </div> <div style="margin-top: 10px;">  <p>周防大島町北岸部</p> <p>海岸漂着ごみの状況 (令和4年11月撮影)</p> </div> <div style="margin-top: 10px;">  <p>全調査地点の海岸漂着ごみ総量の経年変化 (評価ランクからごみ袋数換算)</p> </div> <div style="border: 1px dashed gray; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><調査結果のまとめ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・広島市や呉市沿岸部等では、海岸漂着物が少ない状態が維持された海岸が多い。 ・全体的に島しょ部で漂着ごみが多い。阿多田島西部では大型漂着ごみの回収事業により漂着ごみが減少した。 ・宮島、江田島湾内、阿多田島、屋代島(周防大島町)北岸部では漂着ごみが多い(かき養殖由来のフロート、パイプ等も含まれる)。 </div>		ランク	かき寄せの表現	ごみ袋の数量	0	(自然物を除いて)全くごみがない	0	1	ごみがほんの少しある 500mlペットボトル3~4本分程度	約1/8	2	ごみがある 2本のペットボトル2本分程度	約1/4	3	ごみがちらほら見える 2本のペットボトル4本分程度	約1/2	4	ごみがまばらに見える ポリタンク1本分程度	約1	5	ごみが多い ポリタンク2本分程度	約2	6	ごみが大変多い みかん箱3個分程度	約4	7	ごみが非常に多い ドラム缶1本分程度	約8	8	ごみでぼろぼろ覆われている ドラム缶1.5本分程度	約16	9	ごみで覆われている ドラム缶3本分程度	約32	10	ごみが山になっている 1車カマートン程度	約64	11	ごみが山になっている 軽トラック1台分程度
ランク	かき寄せの表現	ごみ袋の数量																																						
0	(自然物を除いて)全くごみがない	0																																						
1	ごみがほんの少しある 500mlペットボトル3~4本分程度	約1/8																																						
2	ごみがある 2本のペットボトル2本分程度	約1/4																																						
3	ごみがちらほら見える 2本のペットボトル4本分程度	約1/2																																						
4	ごみがまばらに見える ポリタンク1本分程度	約1																																						
5	ごみが多い ポリタンク2本分程度	約2																																						
6	ごみが大変多い みかん箱3個分程度	約4																																						
7	ごみが非常に多い ドラム缶1本分程度	約8																																						
8	ごみでぼろぼろ覆われている ドラム缶1.5本分程度	約16																																						
9	ごみで覆われている ドラム缶3本分程度	約32																																						
10	ごみが山になっている 1車カマートン程度	約64																																						
11	ごみが山になっている 軽トラック1台分程度	約128																																						
考察 (達成状況と今後の取組)	平成30年より、 状態が改善 (令和4年度) 海岸漂着ごみ総量に減少が見られたが、依然として島しょ部の北岸部には海岸漂着ごみが多い。 引き続き、海岸漂着ごみの状況を監視していくものとする。																																							

状態指標：広島湾の保全・再生状況を評価する指標

状態指標の評価の凡例(令和4年度末時点)：

 …計画時から状態が改善傾向にある
  …計画時の状態が概ね維持されている
  …計画時の状態が維持されていない

3. 広島湾再生行動計画（第二期）第2回中間評価まとめ

- (1) 各構成機関においては、第二期計画における目標達成に向けて、行動指標の各取組について引き続き推進していくものとする。
- (2) 令和5年5月8日に新型コロナウイルス感染症が感染症法上の5類感染症へと移行されたことを受けて、第2回中間評価で外出制限等により評価対象外とした指標についても、令和8年度の最終評価時には評価対象とする。
- (3) 今回、目標の達成に向けてさらなる実施が必要と評価された「底質改善の実施面積」については、状態指標において唯一計画時の状態を維持していないとされた底層DOとも密接に関係するものでもあるため、底質改善の取組として、アドバイザーボードで助言のあった産業系リサイクル材（石炭灰造粒物、鉄鋼スラグ、焼成カキ殻など）等を活用した底質改善方法などについて広島湾全体で、残りの計画期間で検討していくこととする。

また、「親水空間、眺望点等の整備箇所数」については、計画策定時に見込んでいた、「美しい川づくり（猿猴川）」における整備は中断された状態である。

「美しい川づくり」については、引き続き施策を推進していくとともに、本指標に適合する事業であれば評価対象としていくものとする。